

暮らしに寄り添う家具づくり

株式会社

平成

代表取締役

税田 貴子さん

住所：三藩郡大木町八町牟田945
TEL：0944-3311677
HP：https://heiseikagu.co.jp/
Instagram：@heiseikagu



今月の夢追い人は、株式会社平成の税田貴子さんにお話を伺いました。

(株)平成は、先代であるお父様が1996年に設立され、創業29年目を迎える木製家具メーカーです。TVボードやソファ、キャビネットなどのリビング収納家具を中心とした企画・製造・販売を手がけられており、個人のお客様向けの商品からOEM※まで、幅広いニーズに対応されています。現在は中国・大連に自社工場を構え、約50名体制で運営されているとのこと。

「当社の商品は全て中国・大連にある自社工場で製造しています。出来上がった商品はそこから各家具取扱店へ配送されます。大連工場とは毎週、品質や販売に関する定期的な会議を行い、コミュニケーションを密にとるようにしています。また、年に数回は現地を訪れ、実際に現場を確認しています。コロナ禍では直接の訪問が難しい時期もありましたが、現場の様子を動画で共有するなど工夫し、リモートでの連携方法を見直す良い機会にもなりました。

商品の製造や品質管理については、兄が中心となって担当しています。日々のコミュニケーションでは、抽象的な表現を避け、「1mm」など具体的な単位を使うように意識しています。お客様とはもちろん、社員間でも言葉の解釈にずれが生じないよう、数値など客観的で明確な表現を選ぶよう努めています。」

ORVIA
SIMPLY ALIGNED

ただしまうだけじゃない。すっきりと暮らし広がる

ORVIA（オルヴィア）は、「収納を通じて、暮らしを整える」ブランドです。
忙しい毎日でも、自然と片付けが続くように。
家族みんながストレスなく使えるように。
限られた空間でも、スッキリと広がりを感じられるように。

私たちが大切にしているのは、
使う人の動きや感覚にフィットする“直感的な収納”。
機能だけでなく、気持ちまで軽くする収納を。
しまえば整う——その体験を、ひとつひとつの家具に込めています。





で、モノづくりや経営に本格的に関わるようになったそうです。

「父が立ち上げた企業を家族で大切に守っていかうという想いのもと、自然な流れで引き継ぎました。当時は私自身、右も左も分からない若さでしたが、父の教えと力強いサポートに支えられながら、今日まで歩んでくることができました。現在、私は日本側の代表を務めておりますが、兄が日本と中国の両面を統括し、会社全体を力強く牽引してくれています。信頼できる兄の存在、そしてそれぞれに個性を持った姉妹の存在があったからこそ、今の私があり、今の会社がある実感しています。兄妹で経営に携わる中で、考え方や視点に違いがありますが、それを前向きに捉えています。時には意見がぶつかることもあります。目指すゴールは同じ。兄妹だからこそ本音で話し合いができ、スピード感のある意思決定が可能になっています。」

従来のブランドに加え、新たにサブブランドを立ち上げられたそうですが、どのような想いや背景があったのでしょうか？

「設立当初から、すてきな暮らしのクリエイター」という想いを原点に、家具づくりに取り組んできました。時代とともに暮らしの形が変化していく中で、私たちもその役割を改めて見つめ直すようになりました。今、私たちは事業の転換点に立ち、新たな提案が求められていると感じています。そうした背景のもと、新たなサブブランド「ORVIA（オルヴィア）」を立ち上げました。ブランドコンセプトは『すっきりと 暮らし広がる』。

「すっきりと 暮らし広がる」を軸に、暮らしの提案を通じて、無理なく整う暮らし、そして少しでも心にゆとりを持てる毎日を提案したいという想いから生まれました。日々忙しく過ごす中でも、頑張らなくても整う暮らしを叶えられるよう、使い勝手や視覚的な心地よさを大切にしています。例えば、動線を邪魔せず機能性を備えながらも圧迫感を感じさせないデザインなど、暮らしに寄り添う工夫を細部まで丁寧に考えています。商品開発にあたっては、実際に30代・40代の方々からリアルなお声を頂戴するため、ユーザーアンケートや意識調査を重ねながら進めてまいりました。ORVIAは7月に産業会館で開催され

た「夏の彩展」にて初お披露目となりました。多くのお客様にブースにお越しいただき、幸先の良いスタートを切ることができました。」

ブランド構築や商品開発において、税田さんが大切にされていることはありますか？
「ユーザー視点を失わないこと」を大切にしています。作り手の都合だけではなく、実際に使ってくださいの方がどう感じるか、どのような場面で使われるのかを想像しながら、企画・開発に取り組んでおります。

毎年開催される大川木工まつりは、多くのユーザーの皆様と直接お会いできる貴重な機会です。一般のお客様が多くいらっしゃるため、接客の際には専門的な言葉はなるべく使わず、わかりやすい言葉でお伝えするよう心掛けています。例えば、「この素材を使うことで、日々のお手入れが楽になりますよ」といったように、実生活に結びついた具体的なメリットをお伝えすることで、より安心して商品を手にとっていただけるよう努めております。」

常にユーザー視点を失わず、

ライフスタイルに合う家具を提案し続けている税田さん。そんな税田さんの夢はなんでしょうか？

「すてきな暮らしのクリエイター」として、「すっきりと暮らし広がる」をテーマに、暮らしに寄り添う家具を提案しながら、より多くの皆さまにブランドの認知を高めていきたいと考えております。家具は、ただ「物」として存在するのではなく、日々の暮らしを支え、心にゆとりや豊かさをもたらす存在であると私たちは信じています。そんな想いを込めた家具づくりを通じて、皆さまの暮らしが少しでも快適で、心地よいものになるようなご提案を続けてまいります。個人的な想いとしては、社員一人ひとりが生き生きと活躍できる環境を整えながら、地域の皆様に愛され、信頼される企業へと成長していきたいですね。地域に根ざしたもののづくりの魅力や家具づくりの楽しさも、これからもっと広く発信していけたらと思っています。」

※OEM：Original Equipment Manufacturer：製造メーカーが他社ブランドの製品を製造すること